



CONTENTS

2016年度 聖句

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい」

(マタイによる福音書第7章12節)



学位記授与式・修了証書授与式	2
入学式	4
2016年度和泉短期大学 建学の精神・教育理念と 3つのポリシーについて	6
退任あいさつ	8

第50回学位記授与式・修了証書授与式

特任教授 伊藤 忠彦



『卒業生に贈る言葉』

学長 佐藤 守男



毎年3月になりますと、神様からお預かりした学生達を和泉というキリストの園から世の中に送り出す時がやってきます。

聖書では「私はあなた方を遣わす。それは、オオカミの群れに羊を送り出すようなものだ」(マタイによる福音書10章16節)と言っています。この世はサタンが存在する世界だともいわれています。しかし、私たちはサタンの奴隷としてこの世に来たものではありません。神の子として神の御業を行うために、神の御国を完成するために、この世に遣わされたのです。そんな私たちをサタンはいつも神から引き離そうとして誘惑をしてくれます。ですから、私たちはいつも、信仰を盾とし御言葉を剣として、サタンの誘惑を退けなくてはなりません。恐れることはありません。皆さんが和泉で学んだという事は、それだけの備えも神様が準備して下さいているということです。

ところで、第二次世界大戦後、米国財団CCF「Christian Children's Fund」は世界中に多くの児童養護施設を起しましたが、和泉短期大学はこの米国財団CCFが起した、世界で唯一の保育士養成校だということを皆さんはご存知でしょうか。このことは本学の建学の精神に係る大切なことです。和泉短期大学は「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を建学の精神とし、「愛と奉仕」をスクールのモットーとして、福祉・保育の専門職の養成にあたって参りました。そして今年度で創立60周年を迎えます。ですから、卒業生の皆さんにはこの和泉の使命を一緒に担ってほしいと思います。

東京女子医大総合母子医療センターの仁志田博司医師がこんなことを言っています。「全て人間にとつて、赤ちゃんは自分の過去であり、老人は自分の未来の姿であり、障がい者は自分の分身である」と。このことは全ての人の中心に「子ども」も「高齢者」も「障がい者」も存在しているということです。皆さんはこれからの人生の中で、自分の中に他者の姿を見出し、自分を愛するように他者にも関心を寄せてほしいと思います。

「神を畏れる心と人格教育」



「主(神)を畏れ、悪を避けよ」(箴言三章七節)

悪を避け、正しく生きようとする人間形成への教育、これはキリスト教教育の大切な課題です。

この教育は、初等・中等教育はいうまでもなく、人間の全生涯に向けての課題です。「教育基本法」に、教育の目標として「人格の完成を目指し」とあります。これはあくまでも目標であって、人格の完成がどの様な姿・形なのかは見えてきません。

しかし、少しでも悪を避け、正しく生きることを願い、努める人が、教育を受けて、社会に排出されることを、願うのでなければならぬと言ふ事です。近年の目覚ましい技術の進歩に伴う、大学における教養教育の退行には、「人格の完成」と言う教育の高い目標はますます遠くなっていると感じられて残念です。

「天文学の父」と呼ばれるガリレオ・ガリレイが「神を畏(恐)れなないで教育すれば、賢い悪魔をつくることになる」と書いたとされる言葉が思い起こされます。膨大な知識と先端の技術が人の手に委ねられると、それらを手にした人の、道具と化するのです。恐ろしいことです。

教育は、知識と技術の教育に加え、増々、道具・手段を用いる主体・人格の形成に力を注がなければならぬのです。この人格形成の教育の中心に、「神を畏れる」と言う視点がなければならぬのです。

利己的で、神を侮り、悪を行う人間に、聖書は、「神は闇の中に隠されている秘密を明るみに出し人の心の企てを明らかにされる」(1コリント四章五節)と語る。人は、全知全能の神を畏れ、敬い種々の利己的誘惑に打ち勝って、「隣人を喜ばせ、互いの向上に努める」(ロマの手紙十五章二節)者でなければならぬのです。

一日の様子

3月15日(火)、和泉短期大学第50回卒業証書・学位記授与式、並びに専攻科介護福祉専攻第6回修了証書授与式が和泉クラーク・ホールにおいて挙行されました。パイプオルガンの荘厳な音色とともに幕を開け、讃美歌斉唱、聖書朗読、祈祷、ハンドベル・クワイアによる讃美と続きました。グループアドバイザーから卒業生一人ひとり名前が呼ばれ、佐藤学長より「卒業証書・学位記」が卒業生総代に手渡されました。学長の告辞、深町理事長の祝辞、在学生代表による送辞、卒業生代表による答辞と進むうちに、卒業生一同感無量になり、涙が頬を伝うようになってきました。最後に讃美歌を斉唱して卒業証書・学位記授与式が終了しました。

二〇一五年度表彰者紹介

眞鍋記念奨学金前期



この度はこのような素晴らしい賞を頂き、誠に有難うございます。

1年 若林 七菜

こうして保育への学びを深め、様々な事に取り組む事が出来る環境を支えてくださる方々に感謝し、これから先も日々努力していきたいと思ひます。



この度は、このような名誉ある賞を頂きありがとうございます。

1年 長谷部ひかる

分が楽しく学んだことをこのように形で表彰して頂き、大変嬉しく思ひます。和泉での学生生活はとても忙しいですが、その分友達と助け合つて過ごせるのも和泉ならではだと感じています。今後も家族、教職員の方々への感謝を忘れず努力していきたいと思ひます。

専攻科 山口 淳子



名誉ある賞を頂き有難うございます。主婦が学生になり戸惑うばかりでしたが、クラスメイトや教職員の方々の助け、家族の協力、出会った人々の助言で、学びが宝物になりました。和泉での宝物を胸に、

眞鍋記念奨学金後期



この度はこのような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。

1年 立石 夏海

今後とも挑戦し続けたいと思ひます。このことをご教授くださった先生方や応援してくれた家族、そして学生生活の楽しさを教えてくれた友人の存在があったからです。今後もしっかりと学び続け、成長していきたいと思ひます。



この度は、名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

1年 清水 渚

友人や先生方、学生生活を支えてくれている家族に大変感謝しております。これを機に、さらに大きく成長できるよう頑張りたいと思ひます。

2年 正木 千花



この度は、眞鍋記念奨学金として選んでいただき、誠にありがとうございます。和泉で過ごした2年間、多くの出会いを通して、様々なことを学び、経験することが出来ました。支えてくださった教職員の方々

や共に過ごした仲間、深く感謝申し上げます。和泉で過ごした時間を糧に、これからも日々努力、精進して参りたいと思ひます。



この度はこのような名誉ある賞を頂き、大変嬉しく思ひます。

2年 谷田 茄瑠

で仲間と共に保育者を目指して学んだ2年間は、私にとってかけがえの無い思い出であり、財産です。これからもこの学びを生かし、子どもたちに寄り添える保育者になりたいと思ひます。



この度は素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。

専攻科 野中 祐希

護の専門的知識を3年間学び、とても充実した学生生活を送ることができました。命の尊さや人とかかわることの喜びを身を持って経験し、人生の糧となりました。今後も向上心を忘れずに成長し続けたいです。

讃岐和家記念賞

2年 武井 楓



この度は讃岐和家記念賞を頂きましてありがとうございます。名

中島武夫記念賞



この度は、中島武夫記念賞を頂きましてありがとうございます。

2年 小林有佳子

誉ある賞の受賞を大変嬉しく思つております。この賞を頂いたのは、共に学びの時を過ごしてきた仲間や、先生方の支え、導きがあったからだと思つております。和泉での学び、愛と奉仕の精神を胸に刻み、保育者として日々精進して参ります。

学長賞後期



この度は学長賞を頂きありがとうございます。こうして賞を頂けたのは同じ委員会の皆さんや先生方、職員の方々の支えがあったからだと感じています。この一年間学生FD委員長としてやってきたことを胸に、そこから得た経験を

2年 桑原 直子



この度はこのような素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

2年 山崎 琴音

活かし、専攻科生活や卒業後の学びに繋げていきたいです。



この度は、立派な賞を頂き、大変光栄です。北里大学と共同で作り上げるはっぴいアクアリウムでは今年から学生中心となり、より幅広く活動ができました。また部員達は、地域の方々、保護者、子どもと関わり貴重な体験をしました。ポランティアサークルの新2年生が来年のはっぴいアクアリウムをより良いものにしてくれると期待しております。

ポランティアサークル 代表 2年 藤澤 果穂



—2016年度新入生研修会—

和泉短期大学の新入生は毎年、宗教部の担当する新入生研修会に参加しています。今年は桜も満開の4月4日に行われました。

第一部では初めて触れるキリスト教、キリスト教関連行事や委員会活動、礼拝の構成などを学生チャペル委員の玉城ニカさんのナレーションによるスライドショーで説明を受けました。さまざまな活動の機会があることを知り、またチャペル委員の取り組みへの参考になりました。チャペル委員の皆さんの壇上からの呼びかけも好評でした。説明の後、参加者全員での礼拝をお捧げしました。パイプオルガンの豊かな響きの中、初めての讃美歌、聖書の朗読、祈りと緊張しながら共に新しい体験を持つことに和泉生としての思いが深められたのではないのでしょうか。

第二部では音楽伝道に取り組まれている井上とも子先生をお迎えしての講演会が開かれました。先生はチェロ奏者でもあり、新入生にとって先生がご持参くださった楽器のチェロの持つ豊かで多様な音色に感動を覚えた研修の機会になりました。『ただひとつの慰め』のテーマで簡潔に語られ、引用されたハイデルベルク信仰問答からのお話は新入生の新スタートに大きな道しるべを示してくださいました。ピアノ伴奏者の加賀都喜乃さんと息の合った演奏で魅力あふれる時間を作ってくださいました。



第52回入学式



—当日の様子—

4月1日(金)、和泉クラーク・ホールにおいて2016年度の入学式を挙行了しました。

2016年度は、児童福祉学科に278名の新入生、専攻科 介護福祉専攻に18名の保育士資格取得者の入学者を迎え、多くの保護者のご参列をいただきました。

式は、学長告辞、理事長の祝辞と続き、パイプオルガンの壮麗な響きで終了しました。

新入生はグループごとの記念写真撮影後、アドバイザーを囲んでミーティングを行い、これから始まる学生生活の夢を語り合いました。新入生が良き保育者、介護福祉士に成長することを願っています。

新入生の言葉

1年 梅澤 知代 (弥栄高等学校出身)



小さい頃から保育士になるのが夢でした。子ども達の成長を身近に感じる事ができ、こんなにやりがいのある職業はないと思っています。『保育者』として、多くの知識を身に付け、人としてもっと成長したいと思い、和泉短期大学への進学を決めました。進学を決める際に、学校見学に参加しました。校内には大きなチャペルがあり、その隣にはキャリアデザインセンターがあり、施設の中に入ってみたい先輩達が円になって楽しく音楽の授業を受け、自分達で歌を作っているの

を見ました。それを見て私は、驚きと不安よりも胸が高鳴るのを抑えきれませんでした。ここで楽しく授業を受けている自分の姿が思い浮かびました。私はこの和泉短期大学で、同じ夢を持った仲間達と保育者として人として大切なことを学んでいきたいと思っています。憧れていた大学生活は、不安もいっぱいありましたが、今は楽しく充実した毎日を送っています。自分未熟さを痛感することも多々ありますが、和泉短期大学での2年間が保育者としての基礎基本を身に付けたいと思っています。今抱いている溢れんばかりの思いをこれからも忘れずに、子ども達の心に寄り添える保育者になりたいと思います。



専攻科 石井 晴菜

和泉短期大学。私が和泉に入学した理由の一つは、専攻科があるということでした。私は幼い頃から保育に携わる仕事に就きたいと思っています。しかし、中学三年生の頃に起きた、東日本大震災でたくさんのボランティアを重なるうちに介護の仕事についても興味を持つようになり、夢であった保育の仕事と

介護の仕事、その両方を学べるところに魅力を感じました。これから、二年間学んできた保育とは異なる介護福祉という学びをできることがとても楽しみです。現代社会にはたくさん的高齢者問題がありますが、そのことも念頭に置き、充実した学びができるように頑張りたいと思います。そして、実習だけでなく積極的にボランティア活動などもして介護福祉について学びを深めていきたいと考えています。

—2016年度新入生歓迎大会—

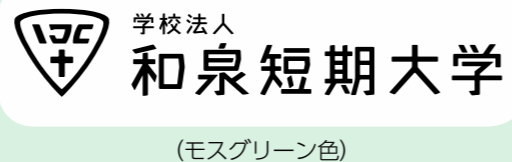
4月5日(火)、「新入生歓迎大会」が開催されました。午前中は、2年生が企画した「じゃんけん列車・ボール転がし・猛獣狩りに行こうよ」に全学生が盛り上がりました。午後は、グループごとに新入生と2年生が共同の壁面を創り上げました。この「壁面制作」は、先輩、後輩、友達の絆を深めるきっかけになりました。

新入生にとっては「和泉に入学して良かった」と思える1日でした。



校名表記、スクールカラーが決定

本学の校名表記、およびスクールカラー(モスグリーン、サブカラーはブルークレール)が決定いたしました。2016年度よりすべての校名表記を統一し、使用に関してはガイドラインの元、厳密な管理・応用を行ってまいります。今回の決定を機に「和泉短期大学」としてより多くの皆様への認知や、本学の取り組みのさらなるアピールに繋がることを期待しております。



学生手帳の配布

2016年度より決定した校名表記、スクールカラーが反映された学生手帳が、全学生に配布されました。学生からは「きれいな色でかわいい。」「早く使いたい。」「といったうれしい声が上がりました。スクールグッズとして他に、携帯用ホイッスル、エコバッグも学生に配布しました。



和泉短期大学の安心安全システム

1. 学生教育研究災害傷害保険 全学生加入
2. 携帯用ホイッスル 全学生配布(2016年度より導入)
3. 非常用備蓄品(乾燥米飯、乾パン、飲料水、生活用水など) 全学生・教職員分3000食常備(近隣自治会と連携)
4. 緊急安否確認システム (2016年度より導入)

大規模災害時に全学生、教職員、保護者の三者間で相互に安否確認が可能となります。このシステムは、事前に登録した都道府県で震度 5 以上の地震が発生した際に自動的に安否を問い合わせるメールを配信します。メールに返答すると、学校および事前に登録した人に自分の安否情報を通知してくれます。その他、気象庁発表の震度 3 以上の地震・津波・台風・警報・火山といった災害情報を即座に携帯メールに配信する「防災速報メール」を設定することができます。

5. スクールバス安全運行に対する取り組み

本学は、最寄駅の相模大野駅、淵野辺駅から学生の通学的手段として、スクールバスを運行しています。スクールバスは全学生の80%が利用しています。運行に際して、法令遵守と安全運行の取り組み内容をご紹介します。

運行会社 株式会社日立オートサービス(神奈川県バス協会、労務安全衛生協会に加盟)

台数 4台(三菱バス)

運行経路 短期大学と相模大野駅、淵野辺駅間を運行

運行体制

乗務員 4名(平均年齢55.7歳)、運行管理者、整備管理者を配置し、毎日次のことを実施しています。行路、車両確認、安全運行システム実施(免許証チェック、アルコールチェック、血圧、運行前後の運行管理者による点呼)、整備管理者による車両運行可否判断、健康診断(年2回)

車両安全補助装置装着状況

バックアイカメラ、車内カメラ、衝突防止補助システム、タコグラフ、ドライブレコーダーを装着

以上の他、運行会社の内部監査、危機意識の醸成として法令遵守、安全運行の徹底を指示、毎月1回、運行管理者と事務局担当職員との打ち合わせを行っています。



携帯用ホイッスル 安否確認システム TOPページ



2016年度 和泉短期大学 建学の精神・教育理念と3つのポリシーについて

建学の精神

「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」

教育理念

本学は、建学の精神であるキリスト教信仰に基づき、スクールモットーである愛と奉仕を実践する人、地域社会のあらゆる局面で積極的な貢献を成し得る人、保育・福祉専門職として謙虚に学び続ける意志をもつ人への実力養成教育を授ける。

スクールモットー

「愛と奉仕」
「あなたがたの光を人々の前で輝かしなさい。」(聖書：マタイによる福音書第5章 16節)

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学の建学の精神(キリスト教信仰に基づく教育と人格形成)、スクールモットー(愛と奉仕)に基づく教育課程表科目群の1群(教養)、2群(原理)、3群(知識・技能)、4群(実践)のカリキュラムを履修して、卒業に必要な所定以上の単位を履修し、下記の要件を満たす学生に対し、短期大学士(児童福祉学)の学位を授与します。

1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。
2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。
3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成の方針)

CP I：教養

「キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する」

CP II：原理

「多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う」

CP III：知識・技能

「子どもと子どもを取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身に付ける」

CP IV：実践

「学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う」

アドミッションポリシー (入学者受け入れの方針)

【和泉短期大学が求める学生像】

和泉短期大学は、保育・福祉専門職として必要な専門的知識・技能・価値を修得し、建学の精神に基づく愛と奉仕をもって、すべての人々が共に生きる社会の実現に貢献したいと考える人を求めています。

【入学希望者に求める学習経験：児童福祉学科】

高等学校卒業までになされる幅広い学びと豊かな経験は、保育・福祉の学びの基盤となります。児童福祉学科入学希望者には、高等学校卒業まで以下記の学習経験を有することが望ましいと考えます。

1. 高校内での保育・福祉に関する学び・経験(総合的な学習の時間、家庭科や社会科等における保育・福祉に関連する学び)の機会を得ること。
2. 保育・福祉現場等でのボランティアを積極的に経験すること。
3. 自己表現とコミュニケーションのスキル(聴く、話す、書く等)を修得すること。

【入学希望者に求める学習経験：専攻科介護福祉専攻】

保育士養成課程での学びを基盤に、主に高齢者や障がい者を対象とする介護を学ぶ専攻科では、保育士養成課程での学びのなかで、下記の学習経験を有することが望ましいと考えます。

1. 社会福祉に関する科目の学びに力を入れて取り組むこと。
2. 高齢者施設、障がい児・者施設等でのボランティアを積極的に経験すること。
3. 対人援助に関する科目での、自己表現とコミュニケーションのスキル(傾聴、共感等)に関する学びに力を入れて取り組むこと。

2015年度「教育環境充実資金」募金のお礼

多くの皆様に「教育環境充実資金」募金にご賛同頂き、心から感謝申し上げます。

2015年度の募金につきましては、2016年2月に300教室を整備し、「ラーニングセンター will」開所、本館1号館304教室・305教室へプロジェクターの設置を行いました。学生の教育環境を一層充実させるため寄付金を活用させていただきます。ここに2015年度の募金報告を致します。ご協力に感謝申し上げます。

●募金対象事業

1) 施設・教育設備の整備(アクティブ・ラーニング室整備、2号館(研究棟)外壁塗装工事他、教室プロジェクター設置) 2) 震災・災害対策 3) その他

●設置費用 10,000,000円

●ご寄付者数 62件(2015年6月1日～2016年3月31日)

●寄付金総額 1,060,000円

寄付者一覧(敬称略) <2016年2月1日～3月31日> 国際ソロプチミスト相模/須山 加奈/竹内 恵子/新美 臣江/松崎 タ子/以上5件

2016年度「創立60周年記念事業募金」

学校法人和泉短期大学は、2016年5月に創立60周年を迎えます。教育の充実を図り、学修環境整備、施設維持整備を目的に、「創立60周年記念事業募金」を行います。皆様には出費多難の折と存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業

- 1) 創立60周年記念事業
- 2) 学修環境整備費
- 3) 1号館外壁・鉄部塗装工事
- 4) その他、関連箇所の整備

●設置費用 1億円

●募集期間 2016年5月～2017年3月

●募集募金 個人 1口5,000円 法人 1口10,000円

問い合わせ先 和泉短期大学 経理ユニット 042-754-1133(代表)

2016年度 保育士資格取得特例講座 (幼稚園教諭免許状を有する方の保育士資格取得特例に関する科目)

新たに創設された「幼保連携型認定子ども園」への円滑な移行を進めるため、改正認定子ども園法の施行後5年間は、「幼稚園教諭免許状」または「保育士資格」のいずれかを有すれば、両方の免許・資格を有する「保育教諭」として勤務できる経過措置が設けられています。

和泉短期大学は、相模女子大学と共同で本講座を開講いたします。詳しく

は本学ホームページをご覧ください。

※なお、両大学共催による講座は本年度で終了となります。本年度のみ受講の方は、保育士試験科目全科目免除にはなりませんのでご注意ください。

問い合わせ先

和泉短期大学 教育・学習支援ユニット 042-754-1133(代表)

退任あいさつ

特任教授 杉山 佳子



私の社会人としての第一歩は、基督教児童福祉会(CCF)から始まりました。当時は東京オリンピックからまだ数年しか経っていない頃で、ソシ

シャルワーカーとしての私の仕事は、アメリカの精神里親からの援助金を届けながら、ひとり親家庭や障がい児を抱えて経済的に困窮しているご家庭を訪問して相談援助を行うというものでした。あれから年月を経て、日本の社会はずいぶん豊かになったように思えますが、あの頃の子どもの笑顔の方が明るく希望に満ちていたようにも感じられます。児童養護施設で働く保育士養成のためにCCFによって創設された和泉短期大学と日本で最初の介護福祉士養成校となった和泉福祉専門学校で教鞭をとらせていただきました。今退任の時を迎え、皆様のお支えに感謝するとともに大変感慨深いものがあります。

皆様、人々のウェルビーイングを願い、子ども達や高齢者の方々の笑顔や生活を支えるためにご活躍ください。和泉短期大学のさらなる発展を心よりお祈り致します。

准教授 戸塚 恵子



和泉に学生として入学後、20年という節目の年に、再び門をくぐり、教壇に立たせていただきました。4年間という短い期間でしたが、教職員の

方々に支えていただきたながら、学生の皆さんとも一緒に多くを学び、とても楽しい時間を

過ごすことができました。こうして無事に2回目の卒業を迎えることができるのも皆様のおかげです。学生の皆さんが保育者として学びを深め、地域で活躍できることを心から願っています。そして、子どもたちにまた大きな夢を与えられる保育者になってください。

最後になりますが、学園のさらなる発展と皆様のご健勝を心からお祈りしつつ、名残惜しいですが、母校を後にしたいと思います。本当にありがとうございました。

カウンセラー(臨床心理士) 高橋恵里香



3年間学生相談室のカウンセラーとして勤務させて頂き、ありがとうございました。勤務当初は何も資格を持たない私を、暖かく受け入れて下さり、素晴らしい環境を与えて頂いた皆様にお礼申し上げます。

3年目は無事に臨床心理士の資格を持って勤務することが出来ましたが、まだまだ未熟者のため皆様にはご迷惑ご心配を多々おかけしたことを思います。

その中でも暖かく見守り、支えて下さり、専門家として尊重して頂いたこと、大変嬉しく思っております。社会人1年目から和泉短期大学で勤務させて頂いて心から嬉しく思っております。臨床心理士としてのステップアップのため退職させて頂くことになりましたが、今後も和泉で学ばせて頂いたことは私の基盤になっていくのだと思います。また何かの形で恩返しできればと思っております。

皆様、3年間誠にありがとうございました。これからの和泉短期大学の更なる発展を心から願っております。